

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公表番号】特表2010-536942(P2010-536942A)

【公表日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-048

【出願番号】特願2010-520456(P2010-520456)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 L 25/02 (2006.01)

C 0 8 K 9/08 (2006.01)

C 0 8 L 51/04 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 25/02

C 0 8 K 9/08

C 0 8 L 51/04

C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) ポリカーボネート、ポリエステルカーボネートまたはそれらの混合物、10～85重量部、

B) ゴムフリービニルコポリマー、10～50重量部、

C) エポキシポリマーを含むサイズ剤付グラスファイバー、5～50重量部、

D) ゴム変性グラフトポリマー、0～2重量部、および

E) 市販のポリマー添加剤、0～10重量部

を含む組成物であって、成分D)と異なるゴム変性ポリマーを含まない組成物。

【請求項 2】

成分Cが

C. 1 連続ストランド、長いグラスファイバーおよびチョップトガラスストランドからなる群からの少なくとも1つの成分から選択されるグラスファイバー、

C. 2 エポキシポリマーを含むサイズ剤、並びに

C. 3 要すれば定着剤

を含むサイズ剤付グラスファイバーである、請求項1記載の組成物。

【請求項 3】

成分Cとしてグラスファイバーを実質的に

C. 2. 1 エポキシポリマー、C. 2に対して50～100wt. %並びに

C. 2. 2 ポリウレタン、ポリオレフィン、アクリレート含有ポリマー、スチレン含有ポリマーおよびポリアミドの群から選択される1種類以上の別のポリマー、C. 2に対して0～50wt. %

からなるサイズ剤 C . 2 と共に含む、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

エポキシポリマー C . 2 . 1 として、

C . 2 . 1 . 1 エピクロロヒドリンおよび

C . 2 . 1 . 2 少なくとも 2 つのヒドロキシル基を有するアルコール

から作られるエポキシ樹脂を使用する、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

成分 E として、難燃剤、ドリップ防止剤、滑剤および離型剤、成核剤、帯電防止剤、安定剤、成分 C 以外の充填剤および強化剤、並びに染料および顔料からなる群から選択される少なくとも 1 種類の添加剤を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

成分 B が

B . 1 ビニル芳香族または環置換ビニル芳香族の群から選択される少なくとも 1 種類のモノマー、成分 B に対して 70 ~ 80 wt . % 並びに

B . 2 ビニルシアニド、(メタ)アクリル酸 (C₁ ~ C₈) アルキルエステル、不飽和カルボン酸および不飽和カルボン酸の誘導体の群から選択される少なくとも 1 種類のモノマー、成分 B に対して 20 ~ 30 wt . %

のゴムフリービニルコポリマーである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

成分 D として、実質的に二重結合を含まないゴムベースグラフトポリマーを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

成形物品の製造への、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物の使用。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物を含む成形物品。